

Captain Nigel's Mega Choice #06

Delta 151 KATYA

英国海軍からチャーターヨットまで様々な船を渡り歩き、これまで30万海里以上にもなる航海経験をもつキャプテン・ナイジェル。現在はマイアミに居を構え、世界のトップセレブリティを相手にチャーターやコンサルティングを手がける彼が、独自のネットワークでつながるメガヨットの世界を紹介する。壮大かつ華麗な、メガヨットワールドをご堪能あれ。

photos: Kristina Strobel
text: Captain Nigel Beatty

この12年間、世界中の様々なビルダーが世に出した数多くのヨットの舵を取る機会に恵まれてきた。しかし、一つだけそのチャンスにめぐり合っていないビルダーがある。それが、アメリカでもっともクオリティの高いヨットを世に出すビルダーとして評価されている、デルタ・ヨットだ。

アメリカ太平洋側北西部、シアトル近郊をホームベースとするデルタ・ヨットは、代々流れる家族の情熱によって、静かに、そしてコンスタントに、高いクオリティと斬新なアイデアに満ちたヨットを生み出し続けてきた。デルタの創立は1960年代。当初はハイスピードのプレジャーボートをはじめ、チャーター&コマースフィッシングボートも手がけていた。太平洋、特にアラスカやベーリング海の過酷な海洋環境を走り抜けるにはそれなりの勇敢さが必要だが、その経験が今日の大型ヨットのメカニカルや構造上のスタンダードを築くことに繋がっている。

1980年代以降、デルタは、世界でも有数のクオリティの高いヨットを生み出すビルダーとなった。151フィート(46m)の「KATYA (カーチャ)」はその中でも最新の作品だ。

デルタによると、カーチャに関する全ては「in house (造船所内)」だ。外観からインテリア、メカニカルシステムまで、すべてをデルタ社自身がデザインした。この印象的なヨットをよく見ると、一続きのデザインということが明らかだ。インテリアにエクステリア、オペレーションシステム、メカニカルシステム、全てが統一されている。そのデザインが好きであろうと嫌いであろうと、全てが統一され、船内の隅々までそれぞれがお互いを引き立たせているのが実感出来る。

カーチャのインテリアのコンセプトは、豪華さと温かさだ。このヨットのオーナーは、インテリアに、クラシックなスタイルの落ち着き感だけでなく、時代を感じさせない高級感をも求めた。特に色使いに重点を置き、基本的な木目はアフリカ系マホガニーの一種を選んだ。全ての設備とほとんどの照明はニッケル仕上げ、そしてこのヨットインテリアの特徴の一つが、それぞれのバスルームに緑、白、ピンクオニキスといった石を使っていることだ。他にも、みかげ石や大理石が、ギャレーを含めたヨット内の様々な箇所で使用されている。

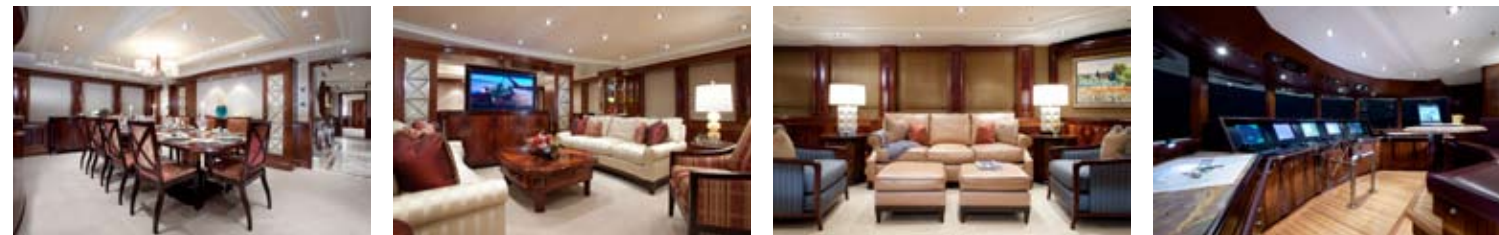
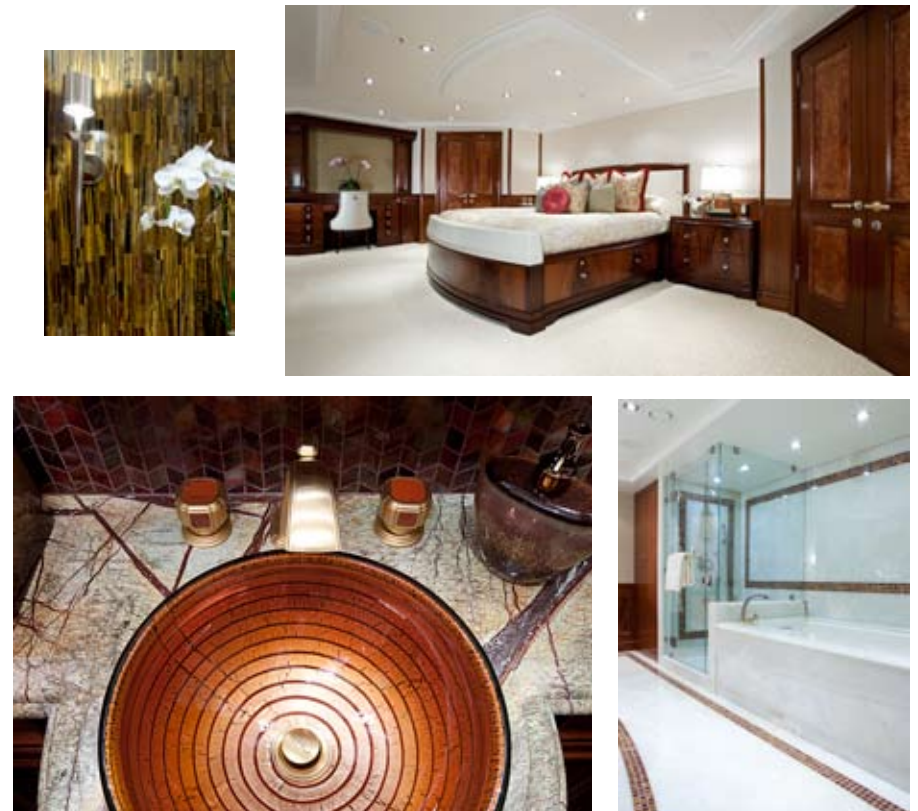
大きなウォークアラウンドがあるデッキは、エンターテインメントからダイニングまで様々なアクティビティを楽しむことができる。メインデッキ後方のダイニングエリアに加えアッパーデッキにも、ゆうに10人が食事を楽しむことが出来るダイニングエリアが設計されている。中に入るとバー付きのカジュアルなスカイラウンジがあり、ゲームテーブルが設置され、もちろん外の素晴らしい眺めも満喫することができる。この空間は親密なダイニングや、イブニングの社交空間として最適だ。

サンデッキは広く、セントラルバー、ホットスノーラウンジチェアも数多くあり、また全てのアウトドアエリアにチークデッキがある。サンデッキ上にあるカー

ボンファイバー製のスレンダーなアーチは、ヨットにとって一番重要なコミュニケーションシステムであり、そしてヨット全体の外形に洗練さを添えている。

そして、このヨットのオーナーはカーチャに、ハイクラスなファミリーヨットとしてだけではなく、チャーターヨットとしての実用性の中にもある種のスタイルを求めた。

これを満たすにはまず、クルーのオペレーションシステムや生活などを、デザイン開始の時点から考える必要があるとオーナーは悟った。しっかりとした生活・業務環境(なにしろこのヨットが、彼らの生活する家になるのだから!)が無い限り、クルーはしっかりとした業務・サービスを提供することは出来



SPECIFICATIONS Delta 151 KATYA

- 全長 46m (151')
- 全幅 9.3m (30' 8")
- 喫水 2.8m (9' 2")
- 重量 427,000kg
- 燃料タンク容量 78,661L
- 清水タンク容量 11,356L
- エンジン 2 x CAT 3508B 1,000bHp@1,600 rpm
- 発電機 2 x Northern Lights 130 kW
- スタビライザー Quantum QC-1800 Zero Speed
- ハウラスター Quantum QT-150 (150 Hp)
- 造水機 Sea Recovery 3600 GPD
- エアコンディショナー Dometic Environmental 36 ton
- マテリアル Composite
- 最高スピード 15.5knots
- 巡航スピード 12.5knots
- 航海レンジ 5,000miles @12knots
- ゲスト 12名
- クルー 10名
- テンドー Nautica Low Profile Diesel Jet RIB
- クラス Lloyd' s Register Maltese Cross 100 A1 SSC Yacht Mono G6 MCH, MCA



ず、それがオーナーやチャーターゲストにも影響してしまうということを、デルタとオーナーは理解していた。したがって、ゲストが素晴らしい時間を過ごすことが出来るよう、このカーチャは、クルーの生活環境・業務環境も十分に考慮されて造船された。クルーキャビンはうまくレイアウトされ、快適で、明るくオープンに、また楽に綺麗に保てるようデザインされている。

ブリッジ裏に十分なスペースを取ったキャプテンのキャビンがオフィスエリアと共にあり、キャプテンが効率的に仕事をこなせるようなデザインになっている。また、ハイスタンダードなサービスが出来るよう、シェフとインテリアスタッフのための収納スペースもヨット全体に充分にあり、ギャレ内には商業用冷蔵庫・冷凍庫が4台、ボトラー用の収納庫にはドライグッズ収納庫も設置されている。

デッキクルーのためには、充分に考慮された器具用のロッカーと、クルーがデッキ上でプロフェッショナルな業務をこなせるよう、メカニカルデッキシステムが搭載されている。エンジンルームの横にはエアコン完備のオフィス・コントロール室があり、エンジニアは随時モニターをチェックしながらエンジンの状態を記録することができる。

このようなアプローチは、キャプテンの私から見ると非常に斬新だ。オーナーはしばしば、クルーをただの労働者とみなし、きちんとした生活環境を

与える必要がないと考えがちだ。しかし、クルーは一流のトレーニングを積んだプロ集団であり、緊急時にヨット、オーナー、ゲストを救うのはまぎれもなく、そのクルーたちなのだ。

カーチャにはCAT 3508が2基搭載され、また、太平洋の荒波の中でも問題なく快適に過ごせるよう、ゼロスピード・スタビライザーも搭載されている。主要テンドーは後方オープニングガレージの油圧式船台に収められ、クルー用のテンドーはジェットスキーとその他のウォータースポーツ器具などと共にアッパーデッキに収納されている。

この船は78,000リッター以上の燃料が入るタンクがあり、航海レンジは12ノットで5,000マイル以上。世界中どの海域でも航海できる設計になっている。

デルタは、今日のメガヨットはスタイルや造船技術だけでなく、プロフェッショナルクルーヨットとして実用的に使えなくてはならないということを非常に理解している。この世界的不況の中でもこれまで同様に造船し続けているのは、デルタのこの理解力が非常に長けているからであろう。

ヨットを非常に良く理解しているオーナーは、ヨーロッパの名門ビルダーにいかか、アメリカのデルタに造船させる。その理由は、デルタは核心的な指針・信条を一切曲げることがないからだ。そしてそれが、クオリティの高い造船競争で、同社がつねに何歩先もリードしている理由なのだ。

Captain Nigel Beatty

Profile ナイジェル・ビーティ: 1969年、英国ベッドフォード生まれ。高校卒業後、欧州放浪の旅に出る。その後、英国海軍に入隊。航海術や操船術などを学び、海軍ヘリコプターコントロール専門の管制官になる。5年後、バハマでスキューバダイビングのボートキャプテンとなるべく英国海軍を退役。1997年にヨット界に飛び込み、ヨットキャプテンとなる。英国MCA3000トンのキャプテンライセンスを所持。これまでにメガヨットのキャプテンとして、米国東海岸、バハマ、タークス・アンド・カイコス、カリブ海、日本、中南米、地中海、インド洋、ペルシャ湾を航海し、航海経歴は30万海里以上におよぶ。現在、ヨットセールス、チャーター、コンサルティング、マリナー販売を手掛けるスーパーヨット・ロジスティクスを日本人妻と運営。プロジェクトマネージャー、テクニカルマネージャー、リフィットマネージャーとして数多くの新艇プロジェクトを手がける。2008年、新人メガヨットキャプテンのインストラクターに就任。2009年には新キャプテン最終試験官に就任し、後輩キャプテンとなる生徒をビシビシと厳しく指導している。スコアはイマイチだが大のゴルフ好きで、2002年のワールド・キャプテン・ゴルフ・トーナメントでは栄誉ある「Wanker of the Year」を受賞。日本語を鋭意勉強中。日本語力は、まともな焼酎を注文したり、間違えずに電卓に乗れるくらいに上達した。

SUPER YACHT LOGISTICS
 JAPAN 050-5539-7667 (日本語)
 USA +1-954-990-0094 (日本語)
 e-mail: info@superyachtlogistics.com
 www.superyachtlogistics.com

